

オロオムシ

【校是】『 やさしく かしく ねばり強く』



居小ホームページ ご覧下さい
この QR コードを携帯電話で読み込むと、居小の日々の様子をご覧頂けます。

学校と家庭の協働で子どもたちの成長を！

居武士小学校長 相馬 一之

9月に入り、訓子府消防署で一日防災学校、熊の出没のためレクレーション公園からスポーツセンターに到着を変更した遠足、5年生は訓小と合同宿泊学習し、低学年も訓小合同川遊び。芸術鑑賞では訓子府中学校を卒業し現在日本国内やフランスで演奏活動をしているヴァイオリン奏者の「肝付 黎」(きもつき れい)さんなど、子どもたちにとって充実した行事が続いていました。これらの活動を通して、令和7年度学校教育目標「ぐんぐんのぼそう！じぶんの力！～自律し、自立する子どもの育成～」の具現化がより一層図られたものと考えています。

今一度、教育目標のおさらいをすると、子どもたちが将来自立するためには、自律（自分で考え、判断し、責任をもって行動する力）する力が必要となってきます。

例えば、居武士学校の自律の育成では、以下のような活動をしています。

- 1 ルールや集団生活の中での自律
 - ・ 時間を守る、他者と協調する、自分の役割を果たす
- 2 学習の自己管理
 - ・ 宿題、目標設定、自己評価などを通じて計画的な行動を促す
- 3 委員会活動・クラブ活動
 - ・ 自主的な活動への参加を通して、自律性・責任感を高める
- 4 対話を通じた気づきの支援
 - ・ 教師との対話やフィードバックによって、自分を見つめ直す機会を得る

また、ご家庭でも「自律する力」を育成するご協力を4月の全体懇談会でもお話をしましたが、改めて以下の活動内容を記載いたしました。ご協力をお願いいたします。

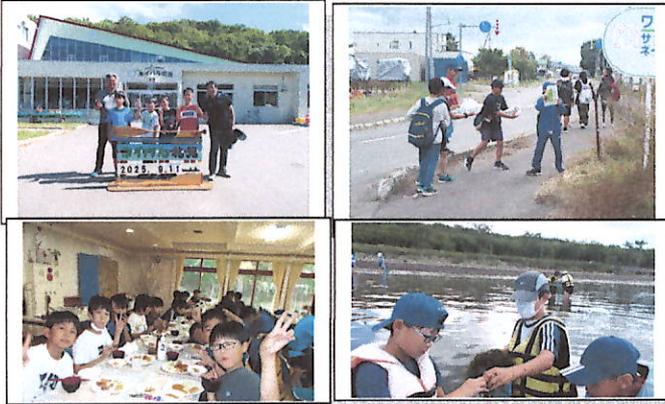
- 1 基本的な生活習慣の確立
 - ・ 「早寝・早起き・朝ご飯」の実施、食事前後の準備や片付けなどを通じて、自己管理能力を養う
- 2 選択と責任の経験を与える
 - ・ 子どもに「選ばせる」ことで、自分の選択に責任を持たせる（習い事を続ける？か宿題をいつやるか）
- 3 失敗を許容する環境
 - ・ 間違いや失敗を責めず、どう乗り越えていくかを一緒に考える
- 4 モデルとしての親の姿
 - ・ 親自身が自律的に行動する姿を見せることで、子どもに学ばせる

いよいよ9月も終わりを迎え、前期終了となります。一度、学習や生活のまとめをしっかりと行い、後期に活かしていくことができるようにしていきたいと思っております。前期に賜りました保護者や地域の皆様のご支援ご協力に感謝申し上げますとともに、後期もどうぞよろしくお願い申し上げます。



宿泊学習

9月11日(木)・12日(金)の2日間、ネイパル北見での宿泊学習に5年生4名が行ってきました。宿泊学習は、訓小の同級生と一緒に活動したり、寝食を共にしたりすることで交流を深めることも目的の一つとなっています。帰校した時は、みんな大変満足した表情でした。素敵な思い出をいっぱい作ることができたのではないのでしょうか。



後援会親睦レクリエーション

後援会レクリエーションを下記の日程で実施します。地域会員で参加希望の方は、10月17日(金)までに居小(47-3160)までご連絡ください。

日時 11月30日(日) 10:00~11:30

会場 居武士小学校体育館

内容 校内かくれんぼ~全力でかくれろ!!~
※上靴をお持ちください。

学芸会

現在、子ども達は、学芸会の器楽の練習を頑張っています。今年はどんな曲を演奏するのでしょうか? 音楽室からは、毎日、練習する音が漏れ響いています。また、10月からは、各学級の演目の練習も本格的に始まります。子ども達のがんばりをぜひご覧ください。

日時: **11月1日(土)**

会場: 居武士小学校体育館

開場: 8時から

入口: 体育館玄関

開演: 8時45分

終演: 11時00分(予定)

とっても楽しかった遠足

9月5日(金)少し暑めの気候の中、全校でスポーツセンターに行きました。今から、1・2年生は訓子府高校から1.3km、3・4年生は訓子府高校から2.6km、5・6年生は本校から5.2kmを歩きました。スポーツセンターの中で思い思いに遊び、午後からはみんなでモルックをして大変盛り上がりました。とても楽しい遠足になりました。



~ご協力ありがとうございました~

- 朝の読み聞かせ会 …古沢美佳さん …谷本春代さん
- 秋の交通安全街頭指導 …後援会の皆様
- 陶芸教室 …井幡美智子さん …美馬律子さん

10月 行事予定表

- 2日(木) 寺子屋
- 4日(土) 秋のロードレース大会
- 9日(木) 朝の読み聞かせ会
- 23日(木) 5時間授業(係打ち合わせ)
- 28日(火) 5時間授業(係打ち合わせ)
- 29日(水) 学芸会児童観覧日
- 31日(金) 前日準備
1・2年生4時間授業

居武士小学校 令和7年度前期学校評価について

保護者アンケート結果から

I 成果

- ① 全体的に、後期の評価と比べて改善したと判断していただいている。
- ② 「学校は児童の個性や能力を適切に見取って評価し、それらを伸ばすように努めている」の項目では、とても高評価だった。
- ③ 「学校は児童の悩みやいじめなどに親身に応じ、適切に対応している」の項目も高評価だった。
- ④ 「子どもは、学校での勉強がわかりやすいと言っている」の項目も高評価だった。

II 課題

- ① 子ども達自身は、宿題や家庭学習を行っていると考えているが、保護者としては、もっと宿題や家庭学習に取り組んでほしいと願っている。
- ② 「学校は、幼・小・中学校との連携を取り、交流学习など教育活動の充実に努めている」の項目の評価は低かった。
- ③ 家庭での読書活動の充実に向けての取組が十分ではない。

今後に向けて

- ◎読書習慣の充実にについては、今後も家読の資料等をお伝えしながら、学校と家庭の連携をより推進していきます。
- ◎宿題や家庭学習の取組については、端末の活用も取り入れながら充実を図っていく。

教職員アンケート結果から

I 成果

- ① 後期の評価と比べ、2の評価項目以外は、評価に改善が見られた。全職員が協働し子どもたちを支援してきた結果だと受け止めている。
- ② 教育活動・運営組織・教育環境・教職員の育成の各項目で改善が見られた。学校全体で教育の改善を行う基盤が整備されてきていると捉えている。
- ③ 教育活動の中では、授業時数を十分に確保し適切に指導を行うとともに、道徳教育の充実が図られていた。

II 課題

- ① 後期と同様、基本的な学習ルールや聞く姿勢の徹底が十分ではない。

今後に向けて

- ◎基本的な学習ルールについては、全学級で共通した取り組み（次の授業の準備をしてから休み時間とするなど）を行い、定着が図られてきている。今後も、学習ルールの徹底を図っていく。

児童アンケート結果から

I 成果

- ① 「自分のよい所を学習や生活に生かしている」の項目は、後期と比べ評価が上がった。自らを肯定的に捉え、積極的に物事に取り組む姿勢が培われてきた。
- ② 学校の勉強は分かりやすく、みんなと協力しながら学校で活動している。
- ③ 仲間はすれやいじめをしないで、自分や友だちを大切に、学校の決まりを守っていると考えている。

II 課題

- ① 自分の考えを積極的に伝えることができていない。

今後に向けて

- ◎子どもたちが、積極的に自分の考えをもち、交流する中で学びを深めることができる授業改善を行う。
- ◎成果として見られた点については、この評価が継続できるように指導を続けていく。

学校運営協議会居武士小学校部会から

- ① 子どもたちは学校では読書しているようだが、家で読書している様子はあまり見られない。
- ② 毎年読書感想文コンクールでは2、3人表彰を受けている。文章を書く力はあるが、それを説明する力が不十分である。
- ③ 今後もクマが出てくる可能性は十分あるので、クマによる登下校の対策は継続していかなければならない。
- ④ 過去には居武士地区で玉ねぎが流されるなど、水害になったことがある。ハザードマップを確認し、水害対策をしたほうがいい。

今後に向けて

- ◎学校や家庭で読書の習慣化を継続して取り組んでいく。
- ◎今後も、学校と家庭、地域とが協力し合いながら子どもたちの安心安全を確保し、健やかな成長を支えていく。

令和7年度居武士小学校学校評価結果(前期)

項目	No.	職員評価項目		関連保護者評価項目		関連児童評価項目		後期	前期	
		後期	前期	後期	前期	後期	前期			
目指す子どもの姿	1	子どもたちは、3つの「あ」(気持ちの良い挨拶・自分の身を守る安全・生活にけじめをつける後始末)に努めている。	△	○	子どもは、家でも、学校でも、地域でも、挨拶や安全、生活にけじめをつける後始末に気をつけて生活している。	○	○	自分からあいさつをしている。	○	○
	2	基本的な学習ルールや関わり姿勢の徹底により、子どもたちの規範意識に高まりが見られる。	△	△	授業参観などから、学習のきまりを守って勉強しようとする子どもの意識が見られる。	◎	◎	授業中は、次のことをがんばり一生懸命勉強している。 先生や友だちの話をしっかり聞いている。 自分の考えを積極的に伝えようとしている。 ノートを丁寧な字で書いている。 学校生活のきまりを守っている。	○	○
	3	研修と関連した板書・ノート指導、読み書き計算の重視、言語活動の充実により、基礎基本の力や主体的に学ぶ力が育ってきた。	○	○	子どもは、学校での勉強が分かりやすいと言っている。 子どもは、読み書き計算を中心に基礎的な学力や表現力を身につけている。	◎	◎	学校での勉強は分かりやすい。	◎	◎
	4	子どもたちは、朝読・昼読・家読に進んで取り組んでいる。	○	○				進んで本を読んでいる。	△	○
	5	子どもたちは、宿題や家庭学習を継続し、復習や予習、発展的な学習などに取り組んでいる。	○	○	子どもは、家庭(みつばちクラブ等を含む)で学習する習慣が身につけている。	△	○	毎日、宿題や家庭学習に取り組んでいる。	○	◎
	6	日常的な体力づくりにより、運動に対する意欲、体力に高まりが見られる。	○	○	子どもは、健康に気を配り、運動や遊びに興味を持って取り組んでいる。	◎	◎	歩いて登校したり、体を使って遊んだりしている。	◎	○
	7	子どもたちは、一人ひとりの活動の高まりを認め合うこと(共感的理解)により、自己存在感や有用感を実感してきている。	○	○	学校は、児童の悩みやいじめなどに親身に応じ、適切に対応している。 学校は、児童の個性や能力を適切に見取って評価し、それらを伸ばすように努めている。 子どもは自己存在感や有用感を感じ、学校生活を楽しんでいる。 学校生活や家庭生活を通して、自分や人のよさを認め、大切に心が育ってきている。	◎	○	困った時や悩んだ時、先生はきちんと相談ののってくれる。 何事にも積極的にチャレンジしている。 学校に行くのは楽しい。 自分のよい所を学習や生活に生かしている。	◎	◎
教育活動等	8	月毎、教科毎にバランスのよい授業時数を確保し、適切に指導している。	◎	◎						
	9	研修活動に主体的に取り組み、指導方法の工夫改善に努めている。	○	○						
	10	道徳の時間はもとより、全教育活動を通じて道徳教育の充実を図るとともに、いじめを許さない学校風土の醸成に努めている。	◎	◎	学校は、児童の悩みやいじめなどに親身に応じ、適切に対応している。	◎	◎	仲間はすれやいじめをしないで、自分や友だちを大切にしている。	◎	◎
	11	集団の一員としての自覚、よりよい人間関係を築こうとする態度の育成のため、学級活動や学校行事、児童会活動等の充実を図っている。	○	○						
組織運営	12	各分掌が連携を取り、効率的に学校運営を進めている。	◎	○						
	13	教務を中心に学校運営に参画できている。	◎	◎						
環境教育	14	教材・備品・図書等について計画的に整備が進められている。	◎	◎						
開かれた学校づくり	15	町内幼・小・中・高校と相互交流を深めるとともに、必要に応じて教育機関との連携に心がけている。	◎	○	学校は、幼・小・中学校と連携をとり、交流学習や教育活動の充実に向けている。	○	△			
	16			学校は、学校運営協議会と連携して教育活動を推進している。	◎	○				
教職員の育成	17	人事評価シートの目標が適切であり、改善に向けて努力している。	◎	○						
	18	効率的な業務推進に努めている。	◎	◎						
	19	服務規律を遵守している。	◎	◎						
家庭教育	20			家庭では、朝食を必ずと摂ることやゲームをする時間、学習時間など生活リズムについて話し合っている。	○	○				
	21			家庭では、子どもが家庭でも読書に親しむよう声かけをしたり、図書館や移動図書館の活用を促すなど、読書環境の充実に向けている。	△	△				

* アンケート各項目の平均を以下の計算式により算出し、◎～2.5以上 ○～2.0以上2.5未満 △～2.0未満で評価しました。
平均=(Aの人数×3+Bの人数×2+Cの人数×1+Dの人数×0)÷総人数(不明は除く)